



センターWebページへ

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ

ハイライト:

「講座紹介」の特集号です。

当センターでは、今年度も多くの講座が実施されました。各課の特徴的な講座を紹介します。

目次:

| | |
|---------------|---|
| 外部講師による講義・演習1 | 2 |
| 外部講師による講義・演習2 | 3 |
| 講座紹介・受講者の声1 | 4 |
| 講座紹介・受講者の声2 | 5 |
| ライブラリ・お役立ち情報 | 6 |
| お知らせ | 6 |

青森県総合学校教育センター

センターだより

巻頭言「学校評価と学校づくり」

平成19年6月の学校教育法改正を受け、同年10月学校教育法施行規則の改正により「自己評価の実施・公表」、「保護者など学校関係者による評価の実施・公表」、「それらの評価結果の設置者への報告」が規定されました。

文部科学省「学校評価及び情報提供の実施状況調査結果（平成18年度間概要）」によると、公立学校における学校評価に関する実施状況は次の表のとおりです。



青森県総合学校教育センター
義務教育課長 田村 義文

| 実施内容 | 評価の種類 | 自己評価 | 学校関係者評価 |
|---------------|-------|-------|---------|
| 評価実施状況 | | 98.0% | 49.1% |
| 評価結果の公表状況 | | 45.2% | 38.7% |
| 評価結果の報告書の提出状況 | | 42.5% | 36.7% |

「自己評価の実施・公表」については、上記規則によって義務化されたことにより、「公表」「報告書の提出」率はこれから上昇するものと推測されます。

「学校関係者評価・公表」については、努力事項ですが、学校評価と学校づくりの観点、学校の家庭・地域との連携の重要性から考えると、「実施」「公表及び報告書の提出」の推進を大きく期待するところです。ここで、学校評価と学校づくりとの関連性を整理してみると、①評価者としてとらえた保護者との関係づくりが学校づくりの基盤となる、②学校の情報提供活動は、説明責任を果たす意味でも学校づくりの基盤となる、③学校の広報活動の体制の見直し、具体的な組織化への取組が直接学校づくりとなる、ということが言えるのではないのでしょうか。地域・家庭と連携した学校づくりが問われる中、学校評価を生かした学校づくりが一層求められています。

〈学校評価を生かした学校づくりとは〉

- ① 実効性の高い学校評価システムの確立、共通理解
ー参考：文部科学省「学校評価ガイドライン」、
県教委「学校評価システム」ー
- ② 保護者による評価、学校・家庭・地域の連携協力の促進
ー学校関係者評価計画ー
- ③ 積極的な情報提供活動、広報活動体制・組織化
ー学校だより、ホームページ等ー

青森県総合学校教育センターは、各学校の実態に即した学校評価システムの確立、家庭や地域社会との連携・協力を深めながらの学校教育の改善・充実に資するよう研修、研究、資料・情報の提供等の事業を推進します。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

外部講師による講義・演習 1

今年度も多くの講座において外部講師をお招きし、専門知識・技能の研修や先進的な研究事例についてご講義頂きました。

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ

「講座番号 266 中学校理科教育講座」10/6～10/7開催

中学校理科教育講座では、法政大学教授 左巻健男氏を招いて、講義・演習を行いました。

講義では、これからの理科教育の在り方について、学習指導要領改訂の詳しい経緯や「知的小もしろさ」を追究することの大切さなどをお話しいただきました。

演習では、簡単にできるテルミット反応や乾電池70個を直列につなげての電球の点灯など、ダイナミックな実験を体験することができました。

受講者の感想には、「講義、演習の中の左巻先生の言動に、理科教員の将来にわたってあるべき姿があったように感じた。」とあり、左巻先生の理科教育に対する熱い姿勢が印象的でした。



法政大学教授 左巻健男氏



テルミット反応の様子



弘前大学教授 長南幸安氏



小学校理科実験基礎講座の様子



奥羽クリーンテクノロジー(株) 見学



青森県栽培漁業振興協会 見学

「講座番号 263 小学校理科実験基礎講座」6/4～6/5開催

「理科実験に関する基本的な事柄を身に付けることで、少し苦手を感じている先生方に、自信をもって指導に取り組んでもらいたい。」というのが、この講座のコンセプトです。弘前大学教育学部から長南 幸安 先生（化学）、東 徹 先生（物理）、植田 勇人 先生（地学）、佐藤 崇之 先生（生物）を講師としてお迎えし、各分野の発展的な内容の部分を取りやすく丁寧に御指導いただきました。教育学部の先生方らしく話の切り口が鋭く、興味・関心を引く実験・実習を展開され、受講した先生方にも大変好評でした。

講師の先生方とセンター指導主事の計8名で御指導するに当たり、「やや内容が多すぎるのでは？」という不安もありましたが、受講した先生方は皆熱心で、積極的に実験・実習に取り組んでいました。講座を通じて学習した内容に創意工夫を更に加え、学校現場で子どもたちに還元してくれることを期待しております。

「講座番号 423 工業教育指導者講座Ⅰ」7/27～7/28開催

前年度より工業教育指導者講座では新学習指導要領の工業科目の内容を考え、企業見学を交え実際に授業で活用できるような内容に構成しています。今年度は環境工学に着目し、2日目は環境対策を工学的見地で行っている企業を見学しました。受講者からは、「見学で見た内容は自分の実際の体験として授業や教材開発にいかせたいと思う。今回の見学を例に、県内の他の業種でもエネルギー再利用に係わるものを調べ、教材を増やしていきたい。」また、「需要と供給のバランスということを強く意識させられました。普段から工業のみで毎日を過ごしていると一方的な考え方で授業を展開してしまっているように思います。工業、農業、水産とそれぞれがバランスを取りながら社会が成り立っていることを授業の中で展開していきたい」と思います。」など、講師からは実社会の環境保全の観点からの講義をいただき受講者にも大変好評でした。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

「講座番号 708 障害児教育相談上級講座」10/19~10/20開催

特別支援教育は、担任一人が丸抱えしたり学校だけで悩んだりするのではなく、校内の教員が協働したり関係機関と連携したりして取り組むという考え方がとても大切です。今回、子どもへの支援を多面的にとらえるために、医療・福祉等、地域の資源とどう連携していけばよいか悩まれている先生方に対し、八戸市にあるNPO法人 夢 発達障害サポートセンター You Meの総括センター長である前田淳裕氏から「福祉の立場から思うこと」というテーマでお話いただきました。理論的な部分だけでなく、発達障害の幼児児童生徒に対して幅広く支援を行っている実践家としてのお話は、受講者の先生方のニーズを十分に満たす内容でした。

「講座番号 603 教育相談初級講座」6/3~6/4開催

6月3日（水）4日（木）に開催された教育相談初級講座の2日目、明治大学の諸富祥彦教授による「学校における面接相談の進め方—基本的な技法を学ぶ—」の講義・演習が行われました。

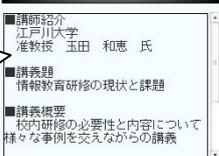
オープニングエクササイズ、保護者との関係づくり、難しい保護者に対するノウハウ、保護者を想定した面談練習（傾聴の五技法）、学級の育て方（不登校・いじめ・クラスの荒れ・問題解決のヒント）等の演習中心の講義内容で、受講生はわかりやすくユーモアあふれる話しぶりに引き込まれていました。保護者への対応、不登校やいじめなどの問題を抱え悩んでいる現場の先生方にとって、大変有意義な研修となったようです。

ライブ配信のご紹介

当センターでは、外部講師の講義の様子を、インターネット経由でライブ配信する準備を進めております。業務の多忙さから研修する時間の確保が難しい先生方でも、**インターネットがつながる環境であれば、職場にしながら講義の様子を視聴することができます。**視聴画面は外部講師の講義の様子と、講義スライドの2画面から構成しております。去る10月23日（金）には、「情報化推進リーダー養成講座」でお招きした情報モラル教育の調査・研究で著名な江戸川大学准教授 玉田和恵先生が講義されている様子を配信致しました。事前に当センタートップページの「新着情報」からライブ配信のご案内をしたところ、様々な校種の先生方に視聴していただき、大変好評でした。しかし、一時的に動画が停止する、音声途切れるなどの課題が若干ありますので、快適なライブ配信サービスを提供できるように今後も改善に努めて参ります。来年度も継続して実施する予定ですので、どうぞご期待ください。

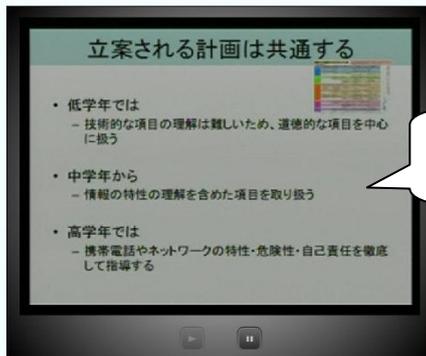
講座番号831

講師の講義の様子



講師紹介・講義の内容について

情報化推進リーダー養成講座



講師パソコンの講義スライド

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



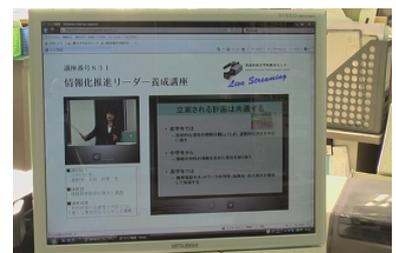
明治大学教授 諸富祥彦氏



ただいま配信準備中！



実際の講義の様子



学校現場における視聴の様子



目白大学教授 黒沢幸子氏

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



芦野公園見学の様子



青森県近代文学館見学の様子

「講座番号607 教育相談上級講座」9/8～9/9開催

本講座は、学校における教育相談に関する専門的な技法を体験的に研修し、校内における教育相談の推進者としての指導力の向上を図ることを目的とした、教育相談初級講座、教育相談中級講座を経ての講座です。

1日目は今までの学びの復習に始まり、それを踏まえてのリーダーとしてのチーム援助の在り方、進め方を学びました。また、2日目の「ブリーフセラピーに学ぶ」では、ブリーフセラピーの中でもSFA（ソリューション・フォーカスト・アプローチ）について目白大学人間学部心理カウンセリング学科教授 黒沢幸子先生からスクールカウンセラーをされている御自身の経験も踏まえた、学校現場で使えるようアレンジされた講義・演習をしていただきました。

人は不登校など問題行動が起きた時、原因探しをし、芋づる式に出てくる原因に立ち往生しがちです。しかし、このSFAの考え方は、まずは解決像を構築し、その問題を抱える子どもの問題そのものも、リソース（資源）と考えて行く解決・未来志向の面接技法であるため、未来を生きる子どもにはとても有効な方法と考えられています。

◆受講者の声

- ・ブリーフセラピーの解決・未来志向のアプローチを実践し、周りの先生方へも紹介し、学年、そして学校全体で前向きに生徒にアプローチできたら素晴らしいと思いました。まずは、自分が解決・未来志向で面接相談に取り組みたいという目標をもつことができました。
- ・リソース探し→例外探し→成功の責任追求の3つをいつも心にとめて、前向きに子どもたちや保護者に接していきたいです。元気や勇気をもらった気がします。
- ・黒沢先生の講義はとてもわかりやすく、演習も効果的で参考になりました。黒沢先生の書かれた本は面白かったですが、実際のお話は更によかったです。

「講座番号207 国語科コンピュータ活用講座」9/1～9/2開催

「青森県の文学と教材制作」というサブタイトルの本講座は、1日目に青森県ゆかりの文学や作家について現地に赴いて取材し、2日目はそれをもとにプレゼンテーション用ソフトを使って教材化するという構成になっています。今年は太宰治をテーマに、青森県近代文学館、斜陽館、雲祥寺、芦野公園をまわりました。台風の接近で天候が心配されましたが、金木に着くころには青空が広がり、絶好の文学散歩日和となりました。受講者の先生方は、今回の取材で得た感動を胸に、実際に授業に役立つ教材制作に取り組むことができたようです。

◆受講者の声

- ・斜陽館は2回目、近代文学館、雲祥寺は初めて訪れましたが、どちらも太宰について深く知ることができました。「走れメロス」で「正義」や「信実」を追い求める明るい部分と、「人間失格」などに描かれる暗い部分と、太宰の両面を生徒に伝えたいという気持ちが強くなりました。今回の研修で見聞きしたことを授業にいかしたいと思います。
- ・今年は「生誕100年」ということで、貴重な資料をたくさん見ることができて幸運だと感じました。近代文学館の櫛引室長や雲祥寺の住職のお話をお聞きして、太宰の幼少時代のことから故郷への思いまで、自分なりに思いを巡らせることができました。
- ・学校生活の中で、プレゼンテーションソフトを使う機会が多くなりました。生徒会行事や授業の中で使うことが多いのですが、今回の取材活動のように実際に自分の足で、目で、体験したことを使って作るということは初めてだったので、すごく有意義な活動となりました。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

「講座番号 703 教材・教具活用講座」7/2～7/3開催

香川大学の武蔵博文教授をお招きし、「子どもが分かって動ける生活支援ツールの作成と活用の実践」の講義をしていただきました。「環境を整える」「自発を促す」「実行を助ける」「認め合う関係を作る」の4つをキーワードに、支援ツールについて実践を通じた具体的なお話を聞くことができました。

自閉症のひろくんの一人通学のための支援ツールを考える演習「がっこうへひとりで行けるもん」では、受講された先生方が限られた時間の中で、真剣に教材・教具の工夫に関するアイデアを出し合うとともに、ユーモアあふれる様々な支援ツールを考え、発表してくれました。

◆受講者の声

- ・サポートブックやスケジュール表、コミュニケーション手段、評価について、それらを子どもの実態に合わせて組み合わせて実行していくことの大切さ、また見直して改善していくことの大切さを学ぶことができました。
- ・「うまくいく」「効率的にいく」ことが、子どもの「楽しかった」「分かった」「できた」という達成感につながるというお話が大変分かりやすく、今後の指導に生かしていきたいと思います。
- ・実際に支援ツールを考える活動では、グループで話し合うことでいろいろな考え方を聞くことができました。子どもが自発的に見通しを持って豊かな生活を送れるように、学校だけでなく家庭でも適切な支援ツールを使って共通理解を図っていくことの大切さを再認識することができました。

「講座番号 222 中学校社会科教育講座」10/1～10/2開催

中学校社会科教育講座では、1日目午後には青森地方検察庁・青森地方裁判所を訪れて実際の刑事裁判の傍聴などの実地研修を行いました。また、2日目午前、前回と今回の学習指導要領改訂に携わられた前跡見学園女子大学教授 堀内一男氏を招いての講義があり、次のような感想が寄せられました。

◆受講者の声

- ・「裁判」という単元を教えていながら、裁判そのものを見ないで授業をしていたことを正直情けなく感じました。今回、実際に見学させていただく機会を得、見たこと、聞いたことを是非今後の授業実践に生かしていきたいと思います。
- ・検察庁、裁判所での研修は初めての体験で、刑事裁判を傍聴し、裁判員制度についての説明を聞き、今までの何となくの世界から、社会の仕組み、制度などをもっと学習していきたいという意欲をもちました。
- ・堀内先生の講義では、新しい学習指導要領で求められる読解型学力などについて詳しく説明していただき、学習したことを活用する場面、それをさらに深めたり、伝える活動をより多く設定していく必要があることがわかりました。

「講座番号 803 表計算ソフト基礎講座（むつ会場）」7/30～7/31開催

表計算ソフト基礎講座は、例年、青森と八戸で開催していましたが、下北地区の先生方の利便性を考え、4年ぶりにむつ会場として開催しました。会場は県立むつ工業高等学校の情報基礎総合実習室をお借りし、むつ市を中心に小・中学校、高等学校、特別支援学校から13名の先生方に参加していただきました。

内容は「表の作成と校務への活用」として、基本的な操作技術の研修に、効果的に学校現場で活用できる例題を加えました。表計算の基礎から他のソフトウェアと関連した内容を含めたことで、ボリュームのある幅広い演習を行うことができました。例題を通して、どの先生方も教科指導や校務の場面で、どの様に活用するか考えながら取り組んでいました。

今回、むつ市で開催したことは受講者からはとても好評であり、それぞれの学校の要望にも応えることができたと考えています。

◆受講者の声

- ・実際に学校の仕事に活用できるものであり、大変助かった。
- ・基礎的な内容から少しずつ発展した内容になり、わかりやすかった。
- ・今まで知らなかった使用方法をたくさん知ることができ、今後応用しながらこの研修を役立てていきたい。
- ・講義の最初に情報モラル・著作権に関する話題もあったのでこれらの知識も高められた。
- ・Excelにはとても便利な機能がたくさんあるということが分かり、とても感動した。



教材・教具活用講座の講座風景

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



傍聴後の法廷において説明を受けている様子



表計算ソフト基礎講座
—むつ会場における研修の様子—

～ 新着図書・ライブラリ紹介 ～

今年度第2次購入分の新着図書の一部をご紹介します。先生方のさまざまなニーズに応える図書資料や視聴覚教材を、今後ますます充実させていきたいと考えております。また、現在ライブラリでは、より利用しやすい施設を目指して、図書資料の配置換えや案内標示の工夫など、改善を図っています。入り口にアンケート用紙を用意しておりますので、ご意見ご要望などをお寄せください。

| 図書資料名 | 編著者 | 出版社 |
|------------------------------|---------------|---------|
| 揺れる世界の学力マップ | 佐藤 学 澤野由紀子 ほか | 明石書店 |
| いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校 | 河村茂雄 品田笑子 ほか | 図書文化社 |
| 活用力アップ! 子どもがよろこぶ算数活動 | 数学教育協議会・小林道正 | 国土社 |
| 中学校新国語科の展開 活用型の国語科授業づくり | 植西浩一 | 明治図書出版 |
| STAR ATLAS21 星の地図館 太陽系大地図 | 渡部潤一 布施哲治 ほか | 小学館 |
| わかるからおもしろい! 音楽力がアップする授業レシピ | 高倉弘光 | 明治図書出版 |
| おもしろ食育教材 なにが発 なるほどなっとく楽しい実践! | 大阪市栄養教職員研究会 | 健学社 |
| 英語授業の心・技・体 | 静 哲人 | 研究社 |
| 子どものケータイ利用と学校の危機管理 | 下田博次 | 少年写真新聞社 |
| きくきくドリル グンぐん伸びる・能力を育てる | 村上裕成 | 文英堂 |

お知らせ

～ センター研究発表会を開催します ～

当センターでは、研究成果を広く教育関係者に発表し、本県の教育向上に資するために、「青森県総合学校教育センター研究発表会」を開催しています。

今年度は、平成22年1月7日（木）～8日（金）2日間の日程で開催します。

○1日目 1月7日（木）

9:30 10:00 10:15 11:45 13:00 15:20

| | | | | | |
|---------------|--------|-------------|--------|-----------------------|--------------------------------------|
| 7 日 (木) | 受 付 | 全 体 会 | 講 演 | 昼 食 ・ 休 憩 | 部 会 別 研 究 発 表 会 |
|---------------|--------|-------------|--------|-----------------------|--------------------------------------|

○2日目 1月8日（金）

9:00 9:30 11:50 12:00

| | | | | |
|---------------|--------|--------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 8 日 (金) | 受 付 | 部 会 別 研 究 発 表 会 | 閉 会 式 | 演 題 「地球温暖化とこれからの環境教育」 講 師 山 下 宏 文（京 都 教 育 大 学） |
|---------------|--------|--------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------|

なお、研究発表テーマ及び発表者、申込方法を記載した[開催案内をセンターWebページ](#)で公開しています。多くの参加をお待ちしております。

編集後記

去る10月7日に全国適応指導教室連絡協議会第9回北海道・東北地域会議「青森大会」が本センターを会場に開催されました。不登校児童生徒数は、平成20年度の速報値では12万6,805人と依然として予断を許さない状況にあります。大会には県内をはじめ東北各地の適応指導教室関係者や学校関係者が集い、弘前大学の豊嶋秋彦教授による講演、適応指導教室指導員とスクールカウンセラーによる実践報告およびグループに分かれての情報交流会を行いました。来年も11月に本センターで開催予定ですので、適応指導教室関係者のみならず、相談機関、スクールカウンセラーをはじめ、学校関係者の方々にも多く参加をしていただければと考えております。
(広報委員 野々口 浩幸)

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

外部講師による講義・演習 1

外部講師による講義・演習 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



図書資料室(2F)の入り口



昨年度の研究発表会の様子